



とらいあんぐる



2023 年 7 月 ・ 8 月

一音会ミュージックスクール発行

「他人の料理」

私の家では、夕食の用意が当番制です。

曜日によって用意する人が違います。

私が料理する日もありますが、娘や息子が料理する日もあります。週末は夫も料理をしてくれます。

4 人家族の私の家の場合、一人の分担は、週に 2 日程度で済みます。

当番制にすると、ものすごく楽です。

子どもたちが大きくなってくれたからできることです。

現在、娘は大学院生、息子は大学生ですが、この当番制は、娘が高校生になつたくらいの時代にスタートしました。

子どもが、ほどよく大きくなると、楽になることばかりです。

とはいえ、ともすると娘や息子のほうが私より忙しい日もあります。

料理する時間やエネルギーがない時は、調理済みのものを買ってきて、テーブルにならべるだけでも良いのです。

お弁当も OK です。

それは当然です。

どんなに手を抜いてもかまわない、

という暗黙のルールがあります。

そして、何が出されても、用意してくれた人に感謝して、ありがたく食べるというルールもあります。

それも当然です。



料理という営みは、自分が作る楽しみもありますが、他人が作ったものを食べる楽しみもあると思います。

実際、当番制にしてみますと、発見することが多く、私にとっては貴重な経験でした。

まず、用意する人の好みによって、メニューから違います。思いがけないものが出てくることもあります。

選ぶ食材も、全然違います。

実は、家族全員、同じスーパーで買い物をしているのですが、同じお店で買っているとは思えないほど、違うものを選んでいきます。

「え？こんなの売ってるんだ?!」と、驚くこともあります。

いつも見ている店内なのに、見えていない部分もあることに気づかされます。

さらに、他人の料理を食べてみると、学ぶことばかりです。

家族の中で、調味料をちゃんと計量するのは娘だけなのですが、「やはり計量すると、正しい感じの味になるなあ。味が安定するなあ」と感心します。

長年、自分の感覚とその時の気分でてきとうに味付けをしていた私は、少し反省します。

タンパク質にこだわる息子は、トリむね肉をメインディッシュにすることが多いのですが、トリはもも肉と決めていた私にとって、これは発見でした。

むね肉もおいしいものです。

このようなことは一例です。

他人の料理は発見の連続です。

しかもおもしろいことに、同じメニューでも、さらにいえば同じレシピであっても、作る人が違うと、ちょっと違うのです。

家族でクックパッド等のレシピサイトを共有することがありますが、まったく同じレシピで作っていても違います。不思議です。

食材の切り方や味付けの加減、火の入れ具合、盛り付けにいたるまで、少しずつ違うせいでしょう。

やはり料理は、「その人らしさ」があらわれるものです。

そして、たいていの場合、他人が作った方がおいしく感じます。

同じレシピであってさえ、です。

おそらく、特に私の料理が下手なせいではないと思うのです。

なぜなら、私以外の家族も、同じこと

をいうからです。

「自分以外の人で作った時のほうがおいしい」と。

私だけが感じているのではないと分かります。

自分で作れば、自分好みの調理ができるはずなのですが、やっぱり人が作った料理のほうがなんとなくおいしい気がします。

なぜなのでしょうね。

自分が作ると、工程がすべて分かっ
てしまうからなのかもしれません。

どの調味料をどのくらい、どのタイミングで入れたか、はっきり分かります。自分で入れたのですから。



食べる前から、おおよその味が想像できてしまいます。そこに驚きの要素はありません。

良くも悪くも、慣れた味、なじんだ味です。

おおげさにいえば、「自分の作った世界から出ることがない」ということなのだと思います。

さて、長々と私の家の夕食の話をしてきました。

読んでいる方は「何の話をしているのだろう？」と、困惑していらっしやると思います。

実は、ここから発表会の話につなげようとしているのです。

演奏とはおもしろいものです。

同じ曲でも、弾く人によって、はつきりと違います。

そう感じたことがある方は多いでしょう。だって、本当にすごく違いますから。

「え？そう弾いちゃうの？」と、驚くこともしばしばあります。

そして、他の人が弾いているのをきくと、なんとなく上手に聞こえるものです。



要は新鮮なのです。

他人の作った料理と同じです。

私は、子ども時代、ものすごく緊張するタイプ、そして自信のない子どもでした。

発表会では、自分の発表の前に、客席でお友だちの演奏をきかないことにしていました。

だって、お友だちの演奏がものすごく上手に聞こえてしまうから、です。

出る直前に舞台袖で聞こえてくるだけで、心臓が破裂しそうなのです。

会場の中で、私一人だけが下手で、私以外の方がみんな上手であるような気がしてきます。

泣きそうになります。いいえ、ちょっと泣いています。

「どうやったら逃げ出せるか」頭の中では、そんなことばかり考えています。

ところが、決死の思いで自分の演奏を終えると、一気に他人事です。



そうなる、むしろ他の生徒さんの演奏が気になります。

ほめられたことではありませんが、対岸の火事を見物する心境に近いと思います。

もう自分を出なくて良いので、心の底から開放されています。

安心して、他の生徒さんの演奏をききます。完全に他人事になっているため、気分は評論家きどりです。

客席を上から見おろすような、後方の座席に陣取って、「どれどれ、おてなみ拝見・・・」という気分で鑑賞します。

えらそうです。

ききどころは、自分が弾いたのと同じ曲、過去に自分が弾いたことがある曲、これから弾きたいなど思っている曲等です。

同じ年齢の生徒さんが何の曲を選びどんなふう弾いているのかも、とても気になるところです。

そして、やはり他人の演奏は上手に聞こえるものです。

まさに発見の連続です。

「へえ～、上手じゃん！ ここでペダル使うのはアリだな～」

「けっこうテンポはやいな。中間部もいけるの?!」

「あ～、カッコいいな～、最後はのくらい強くしちゃっていいのかも・・・」

心の中で、いいたい放題です。

そして、皆さまの工夫の成果を、ぬすみたい放題です。

まさに他人の料理です。

私は、家族の作った料理を食べて、ちゃんと計量しようと思うようになりま

したし、それまで使うことがなかったトリむね肉を使うようになりました。

他人が作り上げた世界に触れれば、かならず発見があります。

良いと思えば、取り入れることもできます。

さあ、発表会です。

お友だちの料理を味わう気持ちで、たくさん演奏をききましょう。

お友だちが作った世界を、遠慮なく見せてもらいましょう。

ここだけの話、他人の成果を堂々とぬすみ見ることができるのは、発表会の最大の楽しみではないでしょうか。

(江口 彩子)



◆もうすぐ「ピアノ発表会」です

7月8日（土）より、「ピアノ発表会 しおり」と「ピアノ発表会 プログラム」をお配りしています。主担当の先生からお渡しするようにしていますので、まだお手元がない方は、主担当の先生にお声かけください。

今年のピアノ発表会は、下記の通りです。

7月30日（日）

板橋文化会館小ホール

- ・東武東上線「大山」駅 北口から徒歩3分
- ・都営三田線「板橋区役所前」駅
A3出口から徒歩7分

8月4日（金）～7日（月） 清瀬けやきホール

- ・西武池袋線「清瀬」駅 北口から徒歩4分

お忙しい中、多くの方がお申し込みをくださいました。コロナの行動制限も解除され、今年は盛会になることでしょう。たいへんうれしく思っています。

今年は、日程が2つに分かれ、会場も異なり、過去に例のない開催となります。お間違いのないよう、ご注意ください。

なお、両会場ともに、第一部は開演時間の30分前まで、舞台上や客席スペースにて、撮影などの準備をおこなっております。大きな機材もあり危険ですので、準備が整うまでロビーもしくは楽屋にてお待ちください。

◆発表会のタイムスケジュールについて

皆さまのご希望をおくみし、ご希望の通りに、プログラムを作成いたしました。そのため、部によって人数の多い部とそうでない部が出ています。

日曜日に、ご希望が集中することを予想し、日曜日を7月30日と8月6日の2日、ご用意いたしました。どちらも第一部は、想定以上の方にご希望を頂戴しました。

7月30日（日）第二部は、15：00開演の予定でしたが、16：00開演とさせていただきます。8月6日（日）第二部は、14：00開演の予定でしたが、14：30開演とさせていただきます。

すでに日曜日の第二部をご希望くださっていた方には、その旨をお伝えし、適宜、必要に応じて他の部に移る等、調整していただいています。皆さまのご協力に、深く感謝しています。



皆さまをよけいにお待たせしたくないので、進行時間はできるだけ正確にお知らせしたいと思っています。

ただ、他のイベントと違い、ピアノ発表会の時間は読みづらいものです。それは、お一人お一人の演奏にかかる時間が読めないせいです。

皆さまはよくお分かりだと思いますが、現時点で最終的なテンポで弾けている生徒さんは、そう多くはないはずです。これから練習を重ねることで、テンポが上がるでしょう。どのくらいまで上がるか、現時点では分からないため、暫定で進行時間を見積もっています。このあと、担当から最新の演奏時間の報告を受けて一音会のホームページのトップページ「生徒さん向け」新着情報ページに掲載します。

7月21日（金）午後以降に、7月30日の発表会各部の目安時間をアップし、8月4日～7日の発表会については、7月28日（金）午後以降に、サイトにアップしますので、以下のQRコードから、アクセスしてご確認ください。

(<https://ichionkai.co.jp/>)



ただし、部がスタートしてからは更新ができませんので、当日の急な変更は、反映されません。生徒さんのご事情で、出演が別日に移動することや演奏順が入れ替わることはよくあることですが、その情報は反映されないことをご了承ください。

出演20分前には舞台袖にお集まりいただかなくてはならないことも考えますと、1時間ほどの余裕をもって、会場にお越しいただきますことをお願いいたします。

発表会の当日になって、体調不良等の理由で、参加があやぶまれる場合は、会場受付にお電話ください。最終日でないかぎり、翌日あるいは翌々日のご出演に、変更できます〔会場受付：070-4014-2797（開催期間のみつながる専用番号です）〕。

◆発表会の諸注意について

久しぶりにコロナに影響されない発表会となります。

おじい様、おばあ様、お友だち…、いろいろな方にお声をかけ、晴れ舞台を見せてあげてください。

発表会は入場無料です。ぜひ多くの方に足をお運びいただきたいと思っています。

1つ、お願いします。お越しくださる方には、「発表会のしおり」の内容を共有していただき、発表会でのルールをご理解の上、お越しいただきたいと思っています。

一音会の生徒さんやご家族の皆様は、演奏会のルールをよくご存じです。お客様としてのマナーも、いつもきちんとしていらっしゃいます。

ですが、発表会の時だけは、失礼ながらマナー違反の方が目立ち、それはルールをご存じないまま、お越しになる方がいらっしゃるかもしれません。

過去、演奏中のお客様の立ち歩きや出入りやおしゃべりによって、演奏が妨げられてしまったこともありました。長い時間をかけ練習を重ね、たった1回の演奏のために費やしてきた膨大な努力を、同居のご家族様はよくご存じです。ですが、普段の練習をご存じないお客様は、失礼ながら少し理解が及ばない面があるように思います。



撮影ゾーン以外での撮影禁止といった基本的なルールも、ぜひお伝えください。
くわしくは、「発表会のしおり」に、お願いごとを書かせていただきました。

メールやSNSでお伝えになる場合は、データの方が便利かもしれません。「発表会のしおり」のPDFをご入用の場合は、以下のメールアドレスまでご請求ください。添付してお送りします [ichionkai.piano@gmail.com]。

◆体調管理に気をくばりましょう

日に日に暑さが増すシーズンです。熱中症も警戒されます。

暑さによる疲れも一因となり、体調不良や病気に悩まされるシーズンでもあります。

すでに多くの方がご存じかと思いますが、お子さまの間で、季節はずれのインフルエンザやRSウィルスや胃腸炎やヘルパンギーナ・・・といった病気が大流行しています。これもコロナの爪あとの1つなのでしょう。

発表会もさることながら、もうすぐ楽しい夏休みです。どうぞお身体を大切に、ご家族の皆様も体調管理に気をくばり、楽しい夏をお過ごしください。

予定通り、全員の方が、元気に発表会にご出演になれますよう、祈っております。



◆スケジュールを今一度、ご確認ください

発表会が終わりますと同時に、教室は夏休みです。

今年は、久しぶりに行動制限のない夏です。ご旅行の予定を立てていらっしゃる方も多いことでしょう。今年は、楽しい思い出が、特にたくさんできる夏になると確信します。

発表会が終わると、解放感から次のレッスンのことが頭から抜けてしまうことも多いものです。その証拠に、発表会のお忘れ物で一番多いのは、楽譜です。

皆さま、年間スケジュールはお持ちだとは思いますが、夏休み前後のスケジュールを、今一度、以下に載せておきますので、ご確認ください。

	日	月	火	水	木	金	土
7月	16 ◎	17	18	19	20	21	22 ■
	23 ○	24	25	26	27	28	29 ▲
	30 発	31					
8月			1	2	3	4 発	5 発
	6 発	7 発	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19 ▲
	20 ◎	21	22	23	24	25	26 ■
	27 ○	28	29	30	31		

*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：ichionkai.piano@gmail.com

電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。